

●モノノフびより実行委員会に市民栄誉賞を

Q.

ももクロ春の一大事新発田市へ埼玉から参加させていただきました。

今回、新潟に滞在中、とても素晴らしい日を過ごす事が出来ました。

2日目中止は、とても残念でしたが、中止になった事で本来回る事が出来なかったであろうところを観光させていただきました。

今回の開催で、新発田市に行ってみたいと思うきっかけの一つに、モノノフびより実行委員会の活動を知ったのもあります。とても丁寧に新発田市のPR活動やその他、ゴミ拾い活動など、関心させられる活動を知りました。

今回、開催のきっかけの女性を含めた、モノノフびより実行委員会の方々に市民栄誉賞をお願いします。市民栄誉賞に値する効果があったのではと思います。

ご検討よろしくお願いします。

(令和7年4月受付)

A.

4月12日、13日、待望の「ももクロ春の一大事 2025 in 新発田市」を開催させていただきました。

初日から、多くファンの方々にお越しいただいた五十公野公園は、これまで見たことのない光景が広がり、ライブ時には約1万2千人以上の方に埋め尽くされたライブ会場は、最高の盛り上がりで熱気に包まれ、モノノフの皆さんに圧倒させられたところでもあります。

2日目は、朝から開園を待ちわびる多くのモノノフの皆さんの行列ができ、9時の開園とともに、物販ブースでは限定商品を買いたい求めている方々で賑わっていましたが、会場内は早朝から強風が吹きつけ、午後に向けてさらに風が強まる予報もあったことから、イベントを楽しみにしていた方々には心苦しく、苦渋の決断ではありますが、ご来場される方の安全を第一に考え、悔しくも中止とさせていただきました。

このたびの開催は市民から頂戴した一通の手紙がきっかけではありますが、開催に向けて準備を行ってきた主催者や運営スタッフをはじめ、市内事業者や公共機関の皆様のほか、イベントにお越しいただいた全国のモノノフの皆さん、そして、実行委員会を立ち上げ、全国へ新発田の魅力を発信してくれた新発田のモノノフの皆さんが一丸となってイベント成功に向けて協力し、それぞれが活動したからこそ、実現できたものと感じております。ご尽力いただいた全ての皆様に敬意を表するとともに、称賛を送りたいと思います。

全国のモノノフの民さんから温かいメッセージを頂戴しており、他にはないこのイベントの魅力と皆様の思いに触れることができ、「春一」の凄さを実感しております。今後も新発田にお立ち寄りいただき、新たな発見をしていただけたら幸いです。またのお越しをお待ちしています。

(令和7年5月9日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。

●加治川桜堤について

Q.

ももクロさんの誘致ありがとうございました。市全体が一つにまとまり、県内外からも新発田市を知ってもらうとても良い機会だったと思います！

加治川の土手の桜（特に旧加治川村向中条から上草荷にかけて）を見たことありませんでしょうか？

かつては長堤十里の加治川の桜と言われていました。圧巻！！です！！桜保存会等活動されている方達もおられると思いますが、新発田市としてももっともっとアピールしていいと思います！この光景をぜひ皆さんに知ってもらいたいです！日本一の桜並木だと私は思っています。よろしくお願いします。

（令和7年4月受付）

A.

加治川堤桜は、かつては東洋一の桜並木と謳われるほどの美しいものであり、当市出身の大実業家 大倉喜八郎も大倉製紙工場の従業員を引き連れて花見に訪れた 場所でもあり、当市を代表する桜の名所であります。

大正4年に大正天皇即位を記念して植栽された加治川の長堤十里の桜並木は、昭和41年、42年の水害と河川改修により一度失われてしまいましたが、復元が進み、現在では約二千本の桜を見ることができます。

桜の開花時期に合わせて加治川治水記念公園や新発田城址公園では「新発田の春まつり」を開催しているほか、加治川堤防をコースにした「春RUN漫しばたジョギング大会」なども行われており、この時期には、市内をはじめ市外からも多くの個人旅行者や団体旅行者のほか、海外旅行者も鑑賞に訪れております。

今年は加治川桜堤植樹100周年という節目の年でもあり、先日、五十公野公園で開催された「ももクロ春の一大事」でも、ステージに立つももいろクローバーZのメンバーからも紹介をしていただきました。

今後も多くの方にお越しいただけるよう、SNSなどを通じて、加治川堤桜の圧倒的なスケール感を国内外にも広く発信し、世界中から多くのファンを募っていきたいと考えております。

この場所は当市の重要な観光資源としてだけでなく、市民の宝として大切に保存していかなければならないことから、新たな100年に向けてしっかりと守ってまいります。

（令和7年5月9日回答）

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。

●ももクロ春の一大事 2025in 新発田市のその後について

Q.

この度は、トップアイドルのももクロを新発田に迎えるという、柔軟なご決断ありがとうございました。

2024 年の春の一大事の経済効果は 8 億円で消滅都市脱出の新発田は、明らかに活性化しました。新発田市も中止を振り返らず、聖地巡礼に力をいれていかれるとの事でありがありがとうございます。

翌週にリトル春の一大事で、本人たちが来ないのに、わざわざ関東圏から市役所までいらっしゃるモノノフの力が再び新発田をカラフルな街にしてくれました。他のアーティストや芸人で、そこまでのファンは見たことありません。佐々木駅が聖地になりました。

今後五十公野公園駐車場のメインステージの場所の一部に、みかん箱でもいいのでお金をかけずに仮設簡易ステージをたてたりメインステージ跡地などの簡易看板等で聖地化をすれば新発田を訪れた時の思い出が増えるかとおもいます。

小さな子供たちやアイドルを夢みた人が、ももクロがメインステージからみた風景を味わえれば映えスポットになります。

中止により、発表をできなかった子供たちはサンビレッジで YouTube 配信していただき、好評でしたが各種の野外ミニコンサートなどや、市役所でやったリトル春の一大事に、低予算でテレビとスピーカーをみかん箱か軽トラの上にのせてメインステージ跡地で、手作り感満載で野外上映会等を定期的におこなえば、またモノノフの皆さんや新発田を訪れた方に元気を与えることができるとおもいます。

人口減少により衰退していくシャッター街にめったにない大チャンスだとおもいますので、ももクロのラッピングバスの長期運用も含めて、これからの新発田の経済効果の為に、物、事の資源の有効活用の程、ご多用中の所、長文で大変失礼致しましたが、何卒宜しくお願い致します。

(令和 7 年 4 月受付)

A.

「ももクロ春の一大事 2025in 新発田市」では、全国から多くのモノノフの皆さんにお越しいただき、盛大にイベントを開催することができました。心より感謝を申し上げます。

開催地決定以降、ももいろクローバーZのメンバーの皆さんには、新発田牛や越後姫といった特産品や地元の食をはじめ、新発田城や月岡温泉など様々な観光スポットなどを余すことなくPRしていただき、市の知名度向上や地域の活性化に大きく貢献していただきました。

市でもSNSなどを通じて、メンバーが訪れた場所や新発田の魅力を発信してきたところであり、ビフォーイベントとして開催されたアンテナショップやトークショー、ミニコンサートにも多くのファンが訪れ、紹介した観光施設や飲食店などにも多くの方に足を運んでいただくなど、市街地は活気に溢れていました。

また、2日目のイベント中止以降も、多くの方が市街地へ移動し、新発田城や蔵春閣などを見学され、飲食店やお菓子屋さんには長蛇の列をつくり、観光を楽しむモノノフの

皆さんの行動力に圧倒されたところであり、何より地域の活性化に貢献したいという使命感は、他にはない唯一無二のイベントであり感銘いたしました。

春の一大事は終演いたしました。このたびのイベントがモノノフの皆さんに語り継がれるとともに、聖地として認知され「また新発田に遊びに行きたい!」と思っていただけることを期待しています。

そのためにも、このイベントに留まらず、引き続き、お越しいただくための魅力づくりや、季節や行事に応じたイベント情報を発信し、大勢の方に新たな魅力に気づいていただき、これからもモノノフの皆さんに愛される町となれるよう努めてまいります。

(令和7年5月9日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。